

農業の活性化に向けて

J Aと懇談会

去る10月10日、よこてシャイニーパレスを会場に、市議会からは正副議長と産業経済常任委員、J Aからは正副組合長と理事などの双方合わせて34名が出席し、地域農業を取り巻く厳しい現状認識があるなかで、横手市農業の新たな振興策に向けて、「農業の活性化に関する懇談会」を開催しました。



よこてシャイニーパレスでの懇談会

懇談会では、まず、J Aから三つのテーマについての現状報告がありました。続いて、各テーマについて、課題の共有化を図り、現状打開のための連携強化を確認しました。

懇談の概要は次のとおりです。

◆ 売り切る米づくりへの戦略的な支援強化

所得確保のため、米粉利用対

策・地域ブランド米づくり・特別栽培米の安定的生産・有機肥料の価格対策などについて、行政側に支援策を求めたい。また、マーケティング活動の推進強化のため、行政との連携による体制づくりを進めたい。

◆ 食の安全確保のための総合分析センターの設立

食の安全安心システム構築のため、国の「強い農業づくり支援事業」を活用した事業化へ向け取り組んでいくこととした。

◆ 担い手の育成について

新規就農者の確保と育成を進めるため、「フロンティア農業研修」や、増田高校・J A・行政の三者連携による「担い手育成教育事業」プロジェクトに期待し応援していく。



産業経済常任委員会の出席議員

消防議員連盟研修会

7月22日開催

消防議員連盟は、平成18年6月、災害に備える意識を広め、安全と平和への貢献を目的に、消防団に所属する議員9名で組織しました。

これまで6回の研修会を開催し、消防防災体制の現状把握や、今後の課題や計画について検討を進めております。

また、消防団員としても、それぞれの地域で、日ごろの防災活動や、火事などの災害発生時には市民の安全確保に努めています。

現場に出動し、消火・救援の支援や今回の研修会では、今後の消防防災体制を調査検討するため、今年3月に秋田県が示した県消防広域化推進計画や、岩手宮城内陸地震の対応について、消防本部や防災担当職員から説明を受けました。

研修会では、地震などの同時多発型災害への備えや、災害時対応のスキルメトリットを主眼とした湯沢雄勝との消防広域合併など、今後の重要な研究課題が得られました。



研修会の様子

編集後記

この夏は異常に暑い日が続き、人それぞれに、いろんな想いがあつたものと感じています。夏が過ぎると秋、そして雪の多い横手に冬の到来は早く感じられ、この季節になると寒い期間が長いことに気づき、「夏の太陽をもう一度」こんな気持ちになります。

9月議会の会期中に敬老会が開催され、各地域局でのお祝いとなりました。少子高齢化という時代になっても敬老の日には心から感謝し祝福できる、そんな市政が求められている、従って「高齢者に感謝するまち横手市」こんな宣言もあつたらいいなと感じております。

さて横手市議会は、市民の思いを真剣に議論して3年が経ちました。その様子は「議会だより」を通して市民の皆様伝わっているでしょうか、今後のより良い紙面づくりのため、ご感想やお声をお寄せください。(恵悦記)

◆ 議会広報委員会

- 委員長 堀田 賢逸
- 副委員長 柿崎 孝一
- 委員 立身万千子・土田百合子
- 菅原 恵悦・佐藤 徳雄
- 阿部 正夫・近江 湖静
- 高安 進一